

建設業における

丸のこ等取扱作業の安全 ―安全衛生教育テキスト― No.221010

<新旧対照表> 改訂4版 令和6年11月5日

【補足事項】※「旧版」から「新版」への文章の修正・追加・削除部分は、下線部を参照してください。

※誤字・脱字および奥付等の軽微な修正は割愛します。

※参考等の法令改正は引用先となる「発翰番号」「表題」のみ掲載します。

(旧版) 改訂3版4刷 (令和5年10月11日)	(新版) 改訂4版 (令和6年11月5日)
[表記・用語の統一 (例：職場→事業所 など)] ※旧版から新版への変更にあたり、「表記・用語の統一」は行っていません。	

(旧版) 改訂3版4刷 (令和5年10月11日)			(新版) 改訂4版 (令和6年11月5日)		
頁	箇所	内 容	頁	箇所	内 容
目次	4章	5) 柱を切断中、のこ歯が反ばつて負傷	目次	4章	5) <u>10cm</u> 角の柱を切断中、のこ歯が反ばつて負傷
1	上から 12行目	「丸のこ等」は、丸のこ盤、可搬式丸のこ盤、携帯用丸のこ、携帯用丸のこ盤に分けられます。	1	上から 12行目	「丸のこ等」は、丸のこ盤、可搬式丸のこ盤、携帯用丸のこ、携帯用丸のこ盤に分けられ、 <u>携帯用丸のこ盤等において、充電式（コードレスタイプ）が普及しています。</u>
12	図 1-21	窯業系サイジング等に使用される。	12	図 1-21	窯業サイディング等の切断に使用される。
16	上から 4行目	③ 作業開始前に建設現場での危険性又は有害性について事前に調査・・・	16	上から 4行目	③ 作業開始前に建設現場での危険性有害性について事前に調査・・・
16	上から 7行目	又は有害性を特定し、重篤度と可能性の度合の組み合わせでリスクを見積り、・・・	16	上から 7行目	有害性を特定し、重篤度と可能性の度合の組み合わせでリスクを見積り、・・・
16	上から 12行目	・・・の組み合わせで行い、危険性又は有害性の大小を客観的に把握します。	16	上から 12行目	・・・の組み合わせで行い、危険性有害性の大小を客観的に把握します。
16	図	(赤枠を部分を修正)	16	図	
リスクアセスメントの5つのステップ ■ ステップ1 危険性又は有害性の特定 ・作業の洗い出し ・危険性又は有害性の分類・特定 ■ ステップ2 リスクの見積り ・可能性の度合と重篤度の要素で見積り ・優先度の決定 ■ ステップ3 リスク低減措置内容の検討 ・リスク低減措置の検討 ・優先順位により対策の検討 ■ ステップ4 リスク低減措置の実施 ・低減措置が著しく合理性を欠く場合を除き、低減措置の実施 ■ ステップ5 リスク低減措置内容の記録 ・リスクアセスメント及びリスク低減措置内容の記録			リスクアセスメントの5つのステップ ■ ステップ1 危険性有害性の特定 ・作業の洗い出し ・危険性有害性の分類・特定 ■ ステップ2 リスクの見積り ・可能性の度合と重篤度の要素で見積り ・優先度の決定 ■ ステップ3 リスク低減措置内容の検討 ・リスク低減措置の検討 ・優先順位により対策の検討 ■ ステップ4 リスク低減措置の実施 ・低減措置が著しく合理性を欠く場合を除き、低減措置の実施 ■ ステップ5 リスク低減措置内容の記録 ・リスクアセスメント及びリスク低減措置内容の記録		
16	下から 9行目	※ リスクアセスメントは、ステップ1からステップ3までをいう（「危険性又は有害性等の調査等に関する指針 同解説」による）・・・	16	下から 9行目	※ リスクアセスメントは、ステップ1からステップ3までをいう（「危険性有害性等の調査等に関する指針 同解説」による）・・・
16	下から 6行目	④ ヒヤリ・ハットを体験した場合には、・・・	16	下から 6行目	④ ヒヤリハットを体験した場合には、・・・
17	図 2-1	騒音現場では耳せん	17	図 2-1	騒音現場では聴覚保護具（耳せん）

(旧版) 改訂 3 版 4 刷 (令和 5 年 10 月 11 日)			(新版) 改訂 4 版 (令和 6 年 11 月 5 日)		
頁	箇所	内 容	頁	箇所	内 容
19	上から 5 行目	ただし、フルハーネス型安全帯を使用することで、 <u>墜落時に作業者が地面に激突するおそれのある場合（高さが 6.75m 以下）は、胴ベルト型安全帯を使用することができます。</u>	19	上から 5 行目	ただし、フルハーネス型安全帯を使用することが <u>原則</u> となりますが、 <u>墜落時に作業者が地面に激突するおそれのある場合（高さが 6.75m 以下）は、胴ベルト型安全帯を使用することもできます。</u>
30	上から 4 行目	・・・作業におけるステップごとに危険性 <u>又</u> は有害性を特定し、・・・	30	上から 4 行目	・・・作業手順書では、作業におけるステップごとに危険性有害性を特定し、・・・
30	図	(赤枠を部分を修正)	30	図	

4 段階法による作業手順書の作り方

第 1 段階

① 工種（まとまり作業）を単位作業に分解する

第 2 段階

② 単位作業を分解し、主なステップを決める

第 3 段階

主なステップを検討し
③ 最も良い順番に並べ替える
④ 主なステップに急所を付ける
⑤ 作業区分をする

第 4 段階

リスクアセスメントをする
⑥ 危険性又は有害性の特定
⑦ 危険性又は有害性を見積り評価して、優先度を決定する
⑧ リスク低減措置内容を検討し、対策をたてる
⑨ 実施者（責任者）を決める

4 段階法による作業手順書の作り方

第 1 段階

① 工種（まとまり作業）を単位作業に分解する

第 2 段階

② 単位作業を分解し、主なステップを決める

第 3 段階

主なステップを検討し
③ 最も良い順番に並べ替える
④ 主なステップに急所を付ける
⑤ 作業区分をする

第 4 段階

リスクアセスメントをする
⑥ 危険性有害性の特定
⑦ 危険性有害性を見積り評価して、優先度を決定する
⑧ リスク低減措置内容を検討し、対策をたてる
⑨ 実施者（責任者）を決める

31	表	(赤枠を部分を修正)	31	表	
----	---	------------	----	---	--

リスクアセスメントを応用した丸のこ作業 作業手順書（例）

作業名	丸のこ切断作業	作業人	職長 1 名、大工 2 名（計 3 名）	作業内容	丸のこによる木材の切断を行う	保 護 具	保護頭、安全靴、保護メガネ、防じんマスク	作業設備	丸のこ	保 護 具	「防じんマスク」等（必要に応じて着用）、「安全靴」等（必要に応じて着用）	使用材料	木材（長尺材及び幅広材）	資 格	等	「高圧用丸のこ」を使用する作業に従事する者に対する安全教育修了証
作業区分	作業手順	急所	危険性又は有害性	可成り発生	見掛け	危険性又は有害性の除去・低減対策	実施者									
準備作業	1. 安全ミーティングを実施する	①関係者全員が、当日の作業手順書を確認し、														
	2. 体調・服装・保護具を点検する	①作業員の顔色を見て ②保護具の着用状況を確認する	体調不良によりふらつき、転倒する	1	2	3	②									職長 大工
	3. 機械・工具を点検する	①電工ドラムのキャブタイヤを ②安全装置を	・作業開始前の点検を怠り、キャブタイヤの破損を見逃し、漏電により感電する ・丸のこの歯に接触して負傷する	2	2	4	③									大工
	4. 作業区域への立ち入りを禁止する	・丸のこのハンドリングの際に、この面に接触する	・作業開始前に保護メガネ、防じんマスクの着用状況を確認する	2	2	4	③									大工
本作業	5. 切断材の付着物（釘、コンクリート等）を取り除く	・付着物がこの面に当たり、丸のこが反り出し、この面に接触して負傷する	・丸のこに歯の接触防止装置（安全カバー等）の取付け、固定状況、機能を確認する	2	2	4	③									大工
	6. 作業台に切断材（木材）を固定する	切断材をしっかりと固定し、切断材がずれたり、飛んで作業員に当たる	・切断材が釘や板の間に挟まれ、クランプ等でしっかりと締め付ける	1	2	3	②									大工
	7. 丸のこを作業台に移す	安全な持ち方で	・移動中、スイッチを入れてしまい指を負傷する	2	2	4	③									大工
	8. 丸のこで木材を切断する	①安全カバーを機能させて ②切断材を安定した場所に置いて、安定した姿勢で	・安全カバーを開き（キャンバー）、ひも等で固定して、常にこの面が露出した状態になり、回転中の面に指が接触する ・丸のこを上向きに持ち、切断するため、固定することができず反りつきをおこし、丸のこを前方に移動し切断する	2	2	3	⑤									大工
後始末	9. 材料を片付ける	整理整頓し	・放置された残材等に他の作業員がつかまり転倒する	1	1	2	①									大工
	10. 機械・工具を片付ける	①機械、工具を点検し ②指定の場所に														

リスクアセスメントを応用した丸のこ作業 作業手順書（例）

作業名	丸のこ切断作業	作業人	職長 1 名、作業員 2 名（計 3 名）	作業内容	丸のこによる木材の切断を行う	保 護 具	保護頭、安全靴、保護メガネ、防じんマスク	作業設備	丸のこ	保 護 具	「防じんマスク」等（必要に応じて着用）、「安全靴」等（必要に応じて着用）	使用材料	木材（長尺材及び幅広材）	資 格	等	「高圧用丸のこ」を使用する作業に従事する者に対する安全教育修了証
作業区分	作業手順	急所	危険性有害性	可成り発生	見掛け	危険性又は有害性の除去・低減対策	実施者									
準備作業	1. 安全ミーティングを実施する	①関係者全員が、当日の作業手順書を確認し、														
	2. 体調・服装・保護具を点検する	①作業員の顔色を見て ②保護具の着用状況を確認する	体調不良によりふらつき、転倒する	1	2	3	②									職長 作業員
	3. 機械・工具を点検する	①電工ドラムのキャブタイヤを ②安全装置を	・作業開始前の点検を怠り、キャブタイヤの破損を見逃し、漏電により感電する ・丸のこの歯に接触して負傷する	2	2	4	③									作業員
	4. 作業区域への立ち入りを禁止する	・丸のこのハンドリングの際に、この面に接触する	・作業開始前に保護メガネ、防じんマスクの着用状況を確認する	2	2	4	③									作業員
本作業	5. 切断材の付着物（釘、コンクリート等）を取り除く	・付着物がこの面に当たり、丸のこが反り出し、この面に接触して負傷する	・丸のこに歯の接触防止装置（安全カバー等）の取付け、固定状況、機能を確認する	2	2	4	③									作業員
	6. 作業台に切断材（木材）を固定する	切断材をしっかりと固定し、切断材がずれたり、飛んで作業員に当たる	・切断材が釘や板の間に挟まれ、クランプ等でしっかりと締め付ける	1	2	3	②									作業員
	7. 丸のこを作業台に移す	安全な持ち方で	・移動中、スイッチを入れてしまい指を負傷する	2	2	4	③									作業員
	8. 丸のこで木材を切断する	①安全カバーを機能させて ②切断材を安定した場所に置いて、安定した姿勢で	・安全カバーを開き（キャンバー）、ひも等で固定して、常にこの面が露出した状態になり、回転中の面に指が接触する ・丸のこを上向きに持ち、切断するため、固定することができず反りつきをおこし、丸のこを前方に移動し切断する	2	2	3	⑤									作業員
後始末	9. 材料を片付ける	整理整頓し	・放置された残材等に他の作業員がつかまり転倒する	1	1	2	①									作業員
	10. 機械・工具を片付ける	①機械、工具を点検し ②指定の場所に														

(旧版) 改訂 3 版 4 刷 (令和 5 年 10 月 11 日)			(新版) 改訂 4 版 (令和 6 年 11 月 5 日)																																																																																																																																																																																																														
頁	箇所	内 容	頁	箇所	内 容																																																																																																																																																																																																												
32	上から 3 行目	・・・危険性又は有害性の大きさを客観的に把握します。	32	上から 3 行目	・・・危険性有害性の大きさを客観的に把握します。																																																																																																																																																																																																												
46	表 3-1	(赤枠を削除)	46	表 3-1																																																																																																																																																																																																													
<table><tr><th colspan="6">丸のご等の始業前点検表</th></tr><tr><td>点 検 日</td><td>平成〇〇年〇〇月〇〇日</td><td>点 検 者</td><td>点 検 太 郎</td><td>作業場名</td><td>〇〇〇〇工事</td></tr><tr><td colspan="3">点 検 項 目</td><td>点 検 ○×</td><td colspan="2">是正・措置・確認</td></tr><tr><td colspan="6">電源に電源プラグが差し込まれていない状態の点検</td></tr><tr><td>1</td><td colspan="5">電源コード及び電源プラグに傷、亀裂、変形、破損等はないか。※アースプラグまたはアースクリップ及び行先表示を含む。</td></tr><tr><td>2</td><td colspan="5">丸のご等本体に亀裂、変形、破損等はないか。</td></tr><tr><td>3</td><td colspan="5">各種安全カバーに亀裂、変形、破損等及び固定等の改造はないか。</td></tr><tr><td>4</td><td colspan="5">各種レバー類が正常に機能するか。各種ボルト類にゆるみがないか。特にこの歯の固定ボルトを確認する。</td></tr><tr><td>5</td><td colspan="5">この歯は、丸のご等本体及び切断材料に適合しているか。この歯に歯こぼれ、亀裂、変形等破損等及び取り付け方向を間違っていないか。</td></tr><tr><td>6</td><td colspan="5">卓上丸のご等で、注油の必要箇所に注油する必要はないか。</td></tr><tr><td colspan="6">電源プラグを電源に差し込み電源を入れた状態の点検（本機スイッチが切れていることを確認）</td></tr><tr><td>7</td><td colspan="5">使用電源が、丸のご等本体の規格にあった電圧か。</td></tr><tr><td>8</td><td colspan="5">試運転を行い、丸のご回転中に、異常振動、異常音、この歯の面振れがないか。</td></tr><tr><td>9</td><td colspan="5">試運転を行い、スイッチを放したときに、スイッチが戻り、ブレーキが正常に作動するか。</td></tr><tr><td colspan="2">作業中の確認事項</td><td colspan="4">作業中に破損、異常振動、異常音等が発生した場合は、直ちに使用を中止する。</td></tr><tr><td colspan="2">作業中の確認事項</td><td colspan="4">作業後、電源プラグを差し込み口から抜き取り、付着物等の清掃を行い決められた場所に保管する。</td></tr><tr><td colspan="6">〔備考欄〕</td></tr></table>			丸のご等の始業前点検表						点 検 日	平成〇〇年〇〇月〇〇日	点 検 者	点 検 太 郎	作業場名	〇〇〇〇工事	点 検 項 目			点 検 ○×	是正・措置・確認		電源に電源プラグが差し込まれていない状態の点検						1	電源コード及び電源プラグに傷、亀裂、変形、破損等はないか。※アースプラグまたはアースクリップ及び行先表示を含む。					2	丸のご等本体に亀裂、変形、破損等はないか。					3	各種安全カバーに亀裂、変形、破損等及び固定等の改造はないか。					4	各種レバー類が正常に機能するか。各種ボルト類にゆるみがないか。特にこの歯の固定ボルトを確認する。					5	この歯は、丸のご等本体及び切断材料に適合しているか。この歯に歯こぼれ、亀裂、変形等破損等及び取り付け方向を間違っていないか。					6	卓上丸のご等で、注油の必要箇所に注油する必要はないか。					電源プラグを電源に差し込み電源を入れた状態の点検（本機スイッチが切れていることを確認）						7	使用電源が、丸のご等本体の規格にあった電圧か。					8	試運転を行い、丸のご回転中に、異常振動、異常音、この歯の面振れがないか。					9	試運転を行い、スイッチを放したときに、スイッチが戻り、ブレーキが正常に作動するか。					作業中の確認事項		作業中に破損、異常振動、異常音等が発生した場合は、直ちに使用を中止する。				作業中の確認事項		作業後、電源プラグを差し込み口から抜き取り、付着物等の清掃を行い決められた場所に保管する。				〔備考欄〕						<table><tr><th colspan="6">丸のご等の始業前点検表</th></tr><tr><td>点 検 日</td><td>〇〇年〇〇月〇〇日</td><td>点 検 者</td><td>点 検 太 郎</td><td>作業場名</td><td>〇〇〇〇工事</td></tr><tr><td colspan="3">点 検 項 目</td><td>点 検 ○×</td><td colspan="2">是正・措置・確認</td></tr><tr><td colspan="6">電源に電源プラグが差し込まれていない状態の点検</td></tr><tr><td>1</td><td colspan="5">電源コード及び電源プラグに傷、亀裂、変形、破損等はないか。※アースプラグまたはアースクリップ及び行先表示を含む。</td></tr><tr><td>2</td><td colspan="5">丸のご等本体に亀裂、変形、破損等はないか。</td></tr><tr><td>3</td><td colspan="5">各種安全カバーに亀裂、変形、破損等及び固定等の改造はないか。</td></tr><tr><td>4</td><td colspan="5">各種レバー類が正常に機能するか。各種ボルト類にゆるみがないか。特にこの歯の固定ボルトを確認する。</td></tr><tr><td>5</td><td colspan="5">この歯は、丸のご等本体及び切断材料に適合しているか。この歯に歯こぼれ、亀裂、変形等破損等及び取り付け方向を間違っていないか。</td></tr><tr><td>6</td><td colspan="5">卓上丸のご等で、注油の必要箇所に注油する必要はないか。</td></tr><tr><td colspan="6">電源プラグを電源に差し込み電源を入れた状態の点検（本機スイッチが切れていることを確認）</td></tr><tr><td>7</td><td colspan="5">使用電源が、丸のご等本体の規格にあった電圧か。</td></tr><tr><td>8</td><td colspan="5">試運転を行い、丸のご回転中に、異常振動、異常音、この歯の面振れがないか。</td></tr><tr><td>9</td><td colspan="5">試運転を行い、スイッチを放したときに、スイッチが戻り、ブレーキが正常に作動するか。</td></tr><tr><td colspan="2">作業中の確認事項</td><td colspan="4">作業中に破損、異常振動、異常音等が発生した場合は、直ちに使用を中止する。</td></tr><tr><td colspan="2">作業中の確認事項</td><td colspan="4">作業後、電源プラグを差し込み口から抜き取り、付着物等の清掃を行い決められた場所に保管する。</td></tr><tr><td colspan="6">〔備考欄〕</td></tr></table>			丸のご等の始業前点検表						点 検 日	〇〇年〇〇月〇〇日	点 検 者	点 検 太 郎	作業場名	〇〇〇〇工事	点 検 項 目			点 検 ○×	是正・措置・確認		電源に電源プラグが差し込まれていない状態の点検						1	電源コード及び電源プラグに傷、亀裂、変形、破損等はないか。※アースプラグまたはアースクリップ及び行先表示を含む。					2	丸のご等本体に亀裂、変形、破損等はないか。					3	各種安全カバーに亀裂、変形、破損等及び固定等の改造はないか。					4	各種レバー類が正常に機能するか。各種ボルト類にゆるみがないか。特にこの歯の固定ボルトを確認する。					5	この歯は、丸のご等本体及び切断材料に適合しているか。この歯に歯こぼれ、亀裂、変形等破損等及び取り付け方向を間違っていないか。					6	卓上丸のご等で、注油の必要箇所に注油する必要はないか。					電源プラグを電源に差し込み電源を入れた状態の点検（本機スイッチが切れていることを確認）						7	使用電源が、丸のご等本体の規格にあった電圧か。					8	試運転を行い、丸のご回転中に、異常振動、異常音、この歯の面振れがないか。					9	試運転を行い、スイッチを放したときに、スイッチが戻り、ブレーキが正常に作動するか。					作業中の確認事項		作業中に破損、異常振動、異常音等が発生した場合は、直ちに使用を中止する。				作業中の確認事項		作業後、電源プラグを差し込み口から抜き取り、付着物等の清掃を行い決められた場所に保管する。				〔備考欄〕					
丸のご等の始業前点検表																																																																																																																																																																																																																	
点 検 日	平成〇〇年〇〇月〇〇日	点 検 者	点 検 太 郎	作業場名	〇〇〇〇工事																																																																																																																																																																																																												
点 検 項 目			点 検 ○×	是正・措置・確認																																																																																																																																																																																																													
電源に電源プラグが差し込まれていない状態の点検																																																																																																																																																																																																																	
1	電源コード及び電源プラグに傷、亀裂、変形、破損等はないか。※アースプラグまたはアースクリップ及び行先表示を含む。																																																																																																																																																																																																																
2	丸のご等本体に亀裂、変形、破損等はないか。																																																																																																																																																																																																																
3	各種安全カバーに亀裂、変形、破損等及び固定等の改造はないか。																																																																																																																																																																																																																
4	各種レバー類が正常に機能するか。各種ボルト類にゆるみがないか。特にこの歯の固定ボルトを確認する。																																																																																																																																																																																																																
5	この歯は、丸のご等本体及び切断材料に適合しているか。この歯に歯こぼれ、亀裂、変形等破損等及び取り付け方向を間違っていないか。																																																																																																																																																																																																																
6	卓上丸のご等で、注油の必要箇所に注油する必要はないか。																																																																																																																																																																																																																
電源プラグを電源に差し込み電源を入れた状態の点検（本機スイッチが切れていることを確認）																																																																																																																																																																																																																	
7	使用電源が、丸のご等本体の規格にあった電圧か。																																																																																																																																																																																																																
8	試運転を行い、丸のご回転中に、異常振動、異常音、この歯の面振れがないか。																																																																																																																																																																																																																
9	試運転を行い、スイッチを放したときに、スイッチが戻り、ブレーキが正常に作動するか。																																																																																																																																																																																																																
作業中の確認事項		作業中に破損、異常振動、異常音等が発生した場合は、直ちに使用を中止する。																																																																																																																																																																																																															
作業中の確認事項		作業後、電源プラグを差し込み口から抜き取り、付着物等の清掃を行い決められた場所に保管する。																																																																																																																																																																																																															
〔備考欄〕																																																																																																																																																																																																																	
丸のご等の始業前点検表																																																																																																																																																																																																																	
点 検 日	〇〇年〇〇月〇〇日	点 検 者	点 検 太 郎	作業場名	〇〇〇〇工事																																																																																																																																																																																																												
点 検 項 目			点 検 ○×	是正・措置・確認																																																																																																																																																																																																													
電源に電源プラグが差し込まれていない状態の点検																																																																																																																																																																																																																	
1	電源コード及び電源プラグに傷、亀裂、変形、破損等はないか。※アースプラグまたはアースクリップ及び行先表示を含む。																																																																																																																																																																																																																
2	丸のご等本体に亀裂、変形、破損等はないか。																																																																																																																																																																																																																
3	各種安全カバーに亀裂、変形、破損等及び固定等の改造はないか。																																																																																																																																																																																																																
4	各種レバー類が正常に機能するか。各種ボルト類にゆるみがないか。特にこの歯の固定ボルトを確認する。																																																																																																																																																																																																																
5	この歯は、丸のご等本体及び切断材料に適合しているか。この歯に歯こぼれ、亀裂、変形等破損等及び取り付け方向を間違っていないか。																																																																																																																																																																																																																
6	卓上丸のご等で、注油の必要箇所に注油する必要はないか。																																																																																																																																																																																																																
電源プラグを電源に差し込み電源を入れた状態の点検（本機スイッチが切れていることを確認）																																																																																																																																																																																																																	
7	使用電源が、丸のご等本体の規格にあった電圧か。																																																																																																																																																																																																																
8	試運転を行い、丸のご回転中に、異常振動、異常音、この歯の面振れがないか。																																																																																																																																																																																																																
9	試運転を行い、スイッチを放したときに、スイッチが戻り、ブレーキが正常に作動するか。																																																																																																																																																																																																																
作業中の確認事項		作業中に破損、異常振動、異常音等が発生した場合は、直ちに使用を中止する。																																																																																																																																																																																																															
作業中の確認事項		作業後、電源プラグを差し込み口から抜き取り、付着物等の清掃を行い決められた場所に保管する。																																																																																																																																																																																																															
〔備考欄〕																																																																																																																																																																																																																	
表 3-1 「丸のご等の始業前点検表」の例			表 3-1 「丸のご等の始業前点検表」の例																																																																																																																																																																																																														
47	上から 2 行目	労働災害防止するためには、作業に伴う危険性又は有害性等について事前に調査、検討（リスクアセスメント）し、その結果から当該作業に伴う危険性・有害性を低減、除去する必要があります。	47	上から 2 行目	労働災害防止するためには、作業に伴う危険性有害性等について事前に調査、検討（リスクアセスメント）し、その結果から当該作業に伴う危険性有害性を低減、除去する必要があります。																																																																																																																																																																																																												
47	下から 5 行目	4) 柱に切り込み中、そばを通った作業者がこの歯に接触し負傷 5) 柱を切断中、この歯が反ばつして負傷	47	下から 5 行目	4) 柱材に切り込み中、そばを通った作業者がこの歯に接触し負傷 5) 10cm 角の柱を切断中、この歯が反ばつして負傷																																																																																																																																																																																																												
51	見出し	4) 柱に切り込み中、そばを通った作業者がこの歯に接触し負傷	51	見出し	4) 柱材に切り込み中、そばを通った作業者がこの歯に接触し負傷																																																																																																																																																																																																												
52	見出し	5) 柱を切断中、この歯が反ばつして負傷	52	見出し	5) 10cm 角の柱を切断中、この歯が反ばつして負傷																																																																																																																																																																																																												